

講義コード	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	開講期
科目名	ミクロ経済学基礎演習					第1期
履修前提条件						備考
授業の目的	この演習では、ミクロ経済学基礎の講義内容を正しく理解し、自らの理解度を確認することを目的として、ミクロ経済学基礎の講義の進み方に合わせて練習問題を解く時間を与え、解説を行う。演習であるので、出席するだけでなく、演習時間に与えられる課題に取り組むことが必要である。特に教科書の章末問題を、自らの力で解けるようになることが演習の重要な目的である。					
到達目標	この演習では、ミクロ経済学基礎の講義内容を理解し、練習問題を解く力をつけることができる。					
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業外学修時間は、最低でも15時間以上必要である。毎回の演習前に講義内容を復習し、教科書の章末問題に目を通しておくこと。					
授業計画	【第1回】 演習のガイダンス 【第2回】 第1章 経済学の十大原理1 【第3回】 第1章 経済学の十大原理2 【第4回】 第2章 経済学者らしく考える1 【第5回】 第2章 経済学者らしく考える2 【第6回】 第3章 相互依存と貿易からの利益1 【第7回】 第3章 相互依存と貿易からの利益2 【第8回】 第4章 市場における需要と供給の作用1 【第9回】 第4章 市場における需要と供給の作用2 【第10回】 第5章 需要、供給、および政府の政策1 【第11回】 第5章 需要、供給、および政府の政策2 【第12回】 第6章 消費者、生産者、市場の効率性1 【第13回】 第6章 消費者、生産者、市場の効率性2 【第14回】 第7章 外部性1 【第15回】 第7章 外部性2					
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢（70%）と提出課題（30%）によって評価する。					
フィードバックの内容	リアクションペーパーに対するフィードバックは、翌週の講義内やポータルサイトにて行う。					
教科書	『マンキュー入門経済学（第2版）』N. グレゴリー・マンキュー（東洋経済新報社）2014年					
指定図書	『スティグリッツ入門経済学第4版』ジョセフ・E・スティグリッツ カール・E・ウォルシュ（東洋経済新報社）2012年					
参考書	『スティグリッツミクロ経済学第4版』ジョセフ・E・スティグリッツ カール・E・ウォルシュ（東洋経済新報社）2013年、『経済学・入門第3版』塩澤修平（有斐閣）2013年、『ミクロ経済学・入門：ビジネスと政策を読みとく』柳川隆・町野和夫・吉野一郎（有斐閣）2008年					
教員からのお知らせ	教科書とミクロ経済学基礎の授業資料を必ず持ってくる。演習用の教材・資料および連絡事項を、学内のポータルサイトを利用して掲示する場合がありますので、担当者の指示に従うこと。					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付ける。					
その他						